

本年度のアンケートの分析について

◎ 昨年度と比較して全般的にみると C と D の評価が減って、A と B の評価が増えています。学校教育への理解が進み、児童も学校に満足感を感じています。以下に項目ごとに分析を行ったのでご覧下さい。

- 1 ○ 「学校は、楽しい。」の設問では、AB 評価合わせて、90パーセントを超え、本校の現職教育で取り組んできた特別活動の成果が出て、楽しい学校となっています。
- 2 ○ 「進んであいさつや返事をしている。」の設問でも、AB 評価合わせて88パーセントと児童も保護者も進んであいさつができていると評価しています。
- 3 ○ 「友達にいつも親切にしている。」の設問では、AB 評価合わせて90パーセントを超え、日常的に友達に優しくできていると評価しています。実際に、友達同士のけんかや悪口などの行為も少なく、仲良く過ごしています。
- 4 △ 「正しい言葉遣いを心がけている。」の項目では、児童が高く評価している反面、保護者の方の中には、評価が低い方もいます。今後も重点的に指導してまいります。
△ 「学校は、「いじめ」や「不登校」の防止によく取り組んでいるか。」の項目では、A の評価までは、いかない保護者が多い。学校として、きめ細やかに対応し、「いじめ」や「不登校」を出さない工夫をしていきます。不安のある保護者の皆様が安心できるように、本校では、以前より実施しておりましたが、本年度より市教委の施策でも始まった Q-U テストを有効に活用し、未然防止により一層努めてまいります。また、不登校に関しては、スクールカウンセラーのアドバイスを受けながら、保護者の皆様と連携して対応してまいります。
- 5 ○ 「授業で先生の教えていることがよく分かる。」の項目については、児童、保護者とも AB 評価が多く、本校の先生方の指導力が十分に発揮されています。
- 6 △ 「先生や友だちの話をしっかり聞いている。」の項目については、児童は、AB 合わせて90パーセントを超えて評価していますが、保護者の方には、そう感じていない方が存在しています。授業の中で、今後さらに指導してまいります。
- 7 △ 「自分の考えを分かりやすく発表できる。」の項目について、AB 合わせて70パーセント以上であり、今後は、さらに発表力をつけていく指導を進めます。
- 8 △ 「毎日、家庭学習の習慣が身についている。」の項目について、保護者の方の評価が低い家庭もあり、今後、小中一貫教育も視野に入れ、中学校と連携しながら、家庭での学習習慣を身に付けさせていきます。
- 9 ● 「進んで読書に取り組んでいる。」の項目について、児童は、読書をしている意識が高いですが、保護者の評価は、まだまだです。本年度より、週2回の読書タイムを設定して、読書の意欲を高める活動を推進してきました。さらに、家庭における読書習慣について保護者の方と協力しながら高めていく必要があります。
- 10 ○ 「早寝、早起き、朝ご飯」を守っているかの設問では、児童も保護者もよく出来ているという回答が大変多いです。本校の小中一貫教育の中の健康教育部の実践が生かされています。
- 11 ○ 「進んで運動に取り組んでいる。」の項目については、AB 評価合わせて80パーセントを超えて評価されていますが、さらに、体力面の向上に努めていきます。また、運動の日常化を図るよう指導してまいります。
△ 「友だちと協力して清掃に取り組んでいる」の項目については、児童が A

の評価を多くしていますが、保護者の方は、B や C の項目が多く、家庭で積極的にお手伝いできる児童を育てていきたいと思えます。

- 1 2 △ 「学校をなるべく休まないよう、健康管理に注意している。」の項目についても、児童の評価は、A 評価が70パーセントを超えていますが保護者の評価は、B や C の評価が多いです。自己管理できる児童の育成に力を注いでいきます。
- 1 3 △ 「安全に注意しながら、登校や下校をしている。」の項目については、児童は、A 評価が80パーセントと高いですが、保護者の評価は、B と C の評価が多いです。本年度は、毎月の下校指導とともに、通学班長会も開催し、指導を強めてきています。さらに、細かな指導を繰り返していきます。
- 1 4 ○ 「先生は、困りごとの相談にのってくれる。」の項目では、AB 合わせて90パーセント以上の評価で、児童の相談体制がしっかりしています。加えて、スクールカウンセラーにより、先生方もアドバイスを受けながら、児童や保護者の相談に対処している成果が現れています。
- 1 5 ○ 「教育活動情報提供」の項目では、AB 合わせて、90パーセント以上の保護者が評価をしています。

柏城小をよりよくするためのご意見

をいただき、ありがとうございました。

全てにお答えできるわけではありませんが、主に学校全体に関わるものについては以下のとおりですので、ご理解いただきますようお願いいたします。

Q 学校の先生方が分からないので、顔写真と名前を配布してほしいと思えます。

A 来年度の4月には、先生方の写真と名前を学校便り等でお知らせいたします。

Q 登下校やウエルカムデーの時には、一人もあいさつをしてくれる子は、いませんでした。あいさつ運動をしっかり行ってほしいです。

A 「あいさつの柏城」というスローガンで、4月より指導して参りました。朝の登校時など、大きな声で「おはよう」とあいさつができるようになってきております。ウエルカムデーなどいつもと違う場面で臨機応変に挨拶するまでには、至っていないようです。ご指摘頂いた点については、さらによりよくあいさつができるように指導して参りたいと思えます。

Q 学校の人数がとても多いのに吹奏楽部がないのはもったいないと思う。中学校入学後に他校とすでに差ができてしまうところがある。

A 本年度新たな特設クラブとして合唱部を開設いたしました。運動系の特設陸上部、特設水泳部、文化系の特設合唱部の3つの部活動で5、6年生児童は、活動しております。特設水泳部は、夏季期間のみです。特設に入っていない児童の中には、放課後や土日にスポーツ少年団などに入っている児童もいます。

ご指摘の吹奏楽部については、例年4年生が合奏祭に参加し、全員の児童に音楽の楽しさや素晴らしさを体験させるという教育的意義を考慮し、開設いたしませんでした。今後も4年生全員で、合奏祭に参加し、すべての子に音楽の楽しさを伝え

ていきたいと考えています。

- Q
- ・小中一貫教育の詳細が不明なのでわかりません。
 - ・具体的な一貫教育のメリットなどがわからない部分もあります。

A 小中一貫教育は、須賀川市全体で進めております。本校については、須賀川二中学区の学校の先生方と、学力向上部、生徒指導部、健康教育部に分かれて、研究会を立ち上げ、推進しております。

本校では、健康教育部を推進しており、朝ごはんレシピの募集や夏休み明けの生活リズムアンケートなどを推進校として、二中学区の各学校に呼びかけ、実施しています。

また、今年度は、小中合同の学校評議委員会を開催したり、小学6年生の中学校見学会を実施したりしました。さらに、柏城小学校ホームページに第二中学校区の小中学校へのリンクを設定しました。(詳しくは、ホームページをご覧ください。) 1月には、児童生徒合同の代表者会議を持つ予定です。

小中一貫教育について、積極的に推進しておりますが、今まで、小中一貫教育の広報が足りなかったと反省しておりますので、次年度は積極的に情報を発信していきたいと考えます。

- Q
- ・イベントが少なすぎる。楽しいことがないので変えて欲しい。
 - ・私たちが小学校の時は、学校は行事が多く、勉強だけじゃない楽しさがたくさんありました。今は、土曜日がなくなり、行事が減り子供たちがかわいそうに思います。

A 土曜日が休みになり、教えるべき教育内容が増大する中、学校行事を精選し、時数を確保するため行事時数が少なくなってきました。

しかし、本校では、特別活動に力を入れており、児童会活動で、異学年の子供たちのグループを作って楽しく遊ぶ「ふれあい集会」を年3回行っています。また、集会委員会が企画し、1年生と5年生などのペアになる学年が体育館に集合して楽しく遊ぶ「なかよし集会」を月3回ずつ行っています。

さらに、他の委員会でも楽しい活動の企画をし、他校と比較してもとても楽しい学校になっていると考えております。今後、小学生の3年生以上に英語活動が入り、ますます時間的な余裕がなくなりますが、特別活動をさらに充実し、体験して学ぶ子供たちを育てていきたいと思えます。